



# 武庫の宝

令和7年 10月



三田市立武庫小学校長 大向 勲

9月は2学期が始まってすぐに5年生の自然学校、6年生の修学旅行と続き、他の学年も校外学習が続きました。子どもたちの学校を離れて学ぶ姿に普段では見つけることができない「価値発見」があります。

特に宿泊的行事を経験した高学年の子どもたちからは、大げさと言われるかもしれませんが、私は心から思ったので使わせていただきます「圧巻」と思える姿を見ました。

まずは5年生の班会議や係会議での「対話」の姿です。日々の振り返りをする中で思いを語り、仲間の思いを聴き合うその姿に、これぞ寝食を共にするからこそ生まれる成長だと感じました。最終日のキャンプファイヤーは私は参加できませんでしたが、その対話があったからこそ「感動」できたのだと思います。

そして6年生。出発前に伝えた「感じる」というキーワード。それをまさに体現、いやそれ以上の「感じて動く」の具体を見たのが、資料館での見学の姿でした。17時からの見学。お昼から活動し続けた中でどうなるかという心配は杞憂に終わりました。そればかりか子どもたちの時間を忘れたかのようにメモをとる姿に「感動」しました。

どちらにも共通するキーワードが「まなざし」です。昨年、本校に着任してから武庫小に「まなざし」という言葉が定着していることに身震いしました。たくさんの先生から子どもたちに向けて伝え続けられたこの言葉は、子どもたちの財産になっています。高学年のその力は学校を支えます。

10月の全校朝会でも「まなざし」について話し、それは「真心(まごころ)」をもってこそだと伝えました。今月末の28日(土)には、それらを発揮して仲間と共に作り上げる音楽会があります。それぞれの学年に応じて、個に応じて、その表し方は違っても、確かな成長があります。どうか「価値発見」をお願いします。当日、共にその感動を味わえることを楽しみにしています。



&lt;「ヒト」へのまなざし&gt;



&lt;「モノ」へのまなざし&gt;